

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ペアやグループなどで話し合いを進めることができた。
- ・朝学習を通して、楽しみながら文章を書いたり、読んだりすることで、言葉に親しむ様子が見られるようになった。

(2) 課題

- ・めあてや提示された視点に沿って、自分の考えを書くこと、文の構成を考えて文章を書くことに課題が残った。
- ・集中して他者の話を聞くことに課題が見られる。他者との交流を通して、自分の考えを広げる経験を積み重ねることが不十分である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての観点において、目標値、前年度平均値、区、全国平均値を上回っている。 ○「書くこと」の観点では、18ポイント上昇している。 ○「書くこと」の中でも、「文章を書く」に関する内容は、他の領域に比べて正答率は低いものの、目標値や区、全国の平均値を大きく上回っている。 	/	/
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○領域別では、すべての項目で区の平均を上回っている。 ○内容別の正答率では、「学校をしようかいする新聞を作る」が最も低く、70.8ポイントである。また、「言葉の学習」の「連用修飾語」については国語の全体の中で唯一、目標値を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○領域・内容別の正答率はすべての項目において、区の正答率と全国平均を上回っている。 ○領域「話すこと聞くこと」では、目標値は上回っているが、他の領域と比べて目標値と正答率の差が一番少ない。 	/
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ○領域別では、すべての項目で区の平均を上回っている。 ○内容別の正答率においても、全ての項目で 	<ul style="list-style-type: none"> ○領域別では、すべての項目で平均を上回っている。 ○内容別の正答率では、「言葉の学習」が最も 	<ul style="list-style-type: none"> ○領域・内容別の正答率はすべての項目において、区の正答率を上回っている。 ○領域「話すこと聞くこ

	区の平均を上回っている。令和3・4年度と経年比較すると、すべての領域・内容別正答率について、目標値や平均を上回る結果となった。	低く、目標値を9ポイント下回っている問題がある。	と」では、全国の平均を0.1ポイント下回っている。 ○内容「文章を書く」では目標値を下回っている。
--	---	--------------------------	--

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○全ての問題で目標値、区平均、全国平均を上回っている。 ○言葉の学習の中でも、「主語と述語の関係」の出題において、間違いが目立ち、目標値に満たない正答率となっていた。	○全ての問題で目標値、区平均、全国平均を上回っている。 ○物語の内容を読み取る問題の中でも、「登場人物の気持ちの変化について具体的に想像している」に関わる出題で間違いが多く、目標値に満たない正答率となっていた。	○全ての問題で目標値、区平均、全国平均を上回っている。 ○文章を書く問題において、指定された長さで文章を書くことについて、目標値の達成率が僅かに上回る値となっていた。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○全ての問題で目標値を上回り、概ね良好である。 ○言葉の学習の中でも、「敬語」や「連用修飾語」についての出題において、正答率が目標値に至らない問題があった。 ○記述問題において、2段落構成で文章を記述する技能が身に付いておらず、他の問題と比べて正答率が低い。また、無答率も他に比べて高い。	○全ての問題で目標値を上回り、概ね良好である。 ○聞き取り問題や記述問題において、他の問題と比べて正答率が低くなっている。特に、聞き取り問題では自分の考えをまとめる問題、記述問題では2段落構成で文章を組み立て、資料から読み取ったことを書く問題について、間違いや無答率が高くなっている。	○目標値、区・全国の平均正答率を上回り良好といえる。 ○「思考・判断・表現」と同様、聞き取り問題における「自分の考えをまとめる問題」、記述問題の「資料から読み取ったことを書く問題」において、間違いや無答率が高くなっている。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うように指導する。 ○筆順に沿って丁寧に書写する力を育て、文章の中で既習漢字を使えるように	○伝えたい事柄について、順序を考えて話すことができるように、話型を示しながら指導する。 ○文章の構成で、「中」の部分詳しく書くために、助	○楽しみながら読解力を高めていくために、カード等を活用して読書に親しめるようにする。 ○学習課題に粘り強く取り組めるように、学習計画を

する。	詞の活用や文章の構成を考えさせる。	児童と話し合いながら作成し、見直しをもてるようにする。
-----	-------------------	-----------------------------

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○国語辞典を日常的に使用し、語彙を増やしていく。 ○一文が長くなりすぎないよう主語と述語の関係や、修飾と被修飾との関係などを意識した文章構成を意識させる。 ○「書くこと」に関する技能が他に比べて低いため、日記の宿題、朝学習での作文練習など、自分の考えを書けるように機会を増やし指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○聞いたこと、考えたこと、物語の内容を読み取ったことを、言語化して伝える力を向上させるため、1対1のペア学習で話し合う機会を設ける。また、ICTを活用して自分の考えをもったのち、自信をもって共有できるように工夫する。 ○書いた文章を読み返して推敲する力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の振り返りの時間を設け、自らの学びや達成感を味わえるようにする。 ○書く題材を児童の身近なものにして練習したり、ICTを活用して文章を書いたりできるようにする。そこで得た技能を、国語のみならず、各教科での自己表現に生かせるよう指導していく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○漢字テストを繰り返し実施し、漢字を書く力を鍛える。 ○主語・述語や修飾語、指示語、敬語などについてプリントを用いて繰り返し指導する。また、「読むこと」の授業において、文の言葉の意味を正しく読み取り、言葉と言葉の関係を丁寧に押さえていくようにする。 ○文章を書く学習では、全体の構成を考え、初め・中・終わりなどの段落の役割を意識しながら書くことができるように指導する。 ○読書経験を積み重ね、語彙を増やすことができるよう、単元学習の中で並行読書環境を整え、様々な図書に親しめるような活動を意図的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを記述する時間を確保し、読み直したり書き直したりして推敲し、表現力を高める指導を行う。 ○朝学習の時間を使って、書くことを楽しみながら、慣れ親しむことができるようにする。また、文章構成を捉えられるように指導する。 ○聞き取りの学習では、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる学習を増やし、経験を積み重ねられるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童同士が話し合う時間を意図的に設定し、他者の意見を受け入れ話し合う力を高めるとともに、学び合うよさを味わい、集団で学ぶ意欲を高められるようにする。 ○ICTを活用し、思考を整理したり、発展的に追究したりできるように学習方法を工夫する。 ○国語の学習だけでなく、理科や社会科などでも資料から読み取ったことを書く学習を取り入れるようにする。 ○学習の振り返りシートを工夫し、児童自身の学びの成果や達成度が視覚的に捉えられるような構成にする。